

(参考様式2) 社会資本総合整備計画 事後評価書

平成 29 年 3 月 29 日

計画の名称	2 北東北の交流拠点としての快適な都市基盤づくりと盛岡市民が安全で安心に通行できる道づくり																	
計画の期間	平成22年度 ～ 平成26年度 (5年間)					交付対象		盛岡市										
計画の目標																		
I 快適な都市基盤づくり 北東北の拠点都市にふさわしい広域交通網を形成し、高次医療施設への安定的なルート確保や通勤、通学時における安全性・快適性の確保や物流等の都市活動を支える幹線道路を整備する II 市民生活を守る安全で安心な生活道路づくり 歩行環境の向上・自転車の利便性を図り、誰でも安全で安心に通行できる生活環境道路整備を行うとともに、計画的な道路管理を行う																		
計画の成果目標（定量的指標）																		
・広域交通網を形成し都市活動を支える幹線道路の改良率 ・舗装新設、修繕等の舗装率 ・歩道、自由通路等の整備率																		
定量的指標の定義及び算定式					定量的指標の現況値及び目標値					備考								
					当初現況値 (H22当初)	中間目標値 (H24末)	最終目標値 (H26末)											
① 盛岡市1・2級幹線道路の改良率であり、以下の式で算出する。 (1・2級幹線道路改良済延長／1・2級幹線道路実延長) ×100(%)					86.2 %	86.4 %	86.6 %											
② 盛岡市道の舗装率であり、以下の式で算出する。 (市道舗装済延長／市道実延長) ×100(%)					81.7 %	81.8 %	82.0 %											
③ 盛岡市道実延長に対する歩道整備率であり、以下の式で算出する。 (歩道設置延長／市道実延長) ×100 (％)					13.1 %	13.4 %	13.8 %											
上段：計画 下段：実施																		
全体事業費	合計 (A+B+C)	2,111百万円 1,233百万円	A	1,974百万円 1,184百万円	B	0百万円 0百万円	C	137百万円 49百万円	効果促進事業費の割合 C／(A+B+C)	6.5% 4.0%								
事後評価																		
○事後評価の実施体制、実施時期																		
事後評価の実施体制					事後評価の実施時期													
課内組織にて事後評価を実施					平成29年3月													
					公表の方法													
					ホームページにて公表													
1. 交付対象事業の進捗状況																		
交付対象事業																		
△	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	施設 種別	省略 工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
												H22	H23	H24	H25	H26		
2-A-1	道路	一般	盛岡市	直接	—	市町村道	改築		北松園四丁目小鳥沢線	L=300m L=300m 年度別施工延長（m） 年度別事業費（百万円）	盛岡市						88 87 300 87	H22完
2-A-7	道路	一般	盛岡市	直接	—	市町村道	改築		(1) 一の渡岩洞湖線 東工区	L=4000m L=1400m 年度別施工延長（m） 年度別事業費（千円）	盛岡市						203 131 131 1,000 131	
2-A-6	道路	一般	盛岡市	直接	—	市町村道	改築		(他) 舟田西枝線	L=400m L=400m 年度別施工延長（m） 年度別事業費（千円）	盛岡市						73 73 400 73	H26完
2-A-8	玉建	一般	盛岡市	直接	—	市町村道	修繕		(1) 渋民好摩線 川崎橋	落橋防止 1橋 落橋防止 1橋 年度別施工延長（m） 年度別事業費（百万円）	盛岡市						142.0 68.1 1.00 68.1	
2-A-26	道路	一般	盛岡市	直接	—	市町村道	改築		(1) 稲荷町谷地頭線	L=60m L=60m 年度別施工延長（m） 年度別事業費（百万円）	盛岡市						22 22 60 22	H23完
2-A-27	道路	一般	盛岡市	直接	—	市町村道	交安		(1) 中ノ橋通一丁目八幡町線 八幡町	ミニ信号道路L=520m L=520m 年度別施工延長（m） 年度別事業費（百万円）	盛岡市						190 194 520 194	
2-A-29	道路	一般	盛岡市	直接	—	市町村道	交安		(2) 月が丘三丁目谷地線 木賊川	歩道整備L=75m L=75m 年度別施工延長（m） 年度別事業費（百万円）	盛岡市						50 50 75 50	
2-A-31	道路	一般	盛岡市	直接	—	市町村道	交安		(他) 好摩駅連絡線	自由通路L=88m L=88m 年度別施工延長（m） 年度別事業費（百万円）	盛岡市						657 356 88 356	
2-A-48	道路	一般	盛岡市	直接	—	市町村道	交安		(1) 渋民好摩線 好摩，川崎工区	歩道整備L=3.1km L=0km 年度別施工延長（m） 年度別事業費（百万円）	盛岡市						7 8 0 7.5	
2-A-55	道路	一般	盛岡市	直接	—	市町村道	改築		(1) 盛岡駅前通線外 盛岡駅周辺		盛岡市						75 75	
2-A-66	道路	一般	盛岡市	直接	—	市町村道	改築		(他) 尻志田線	L=1700m L= 0 m 年度別施工延長（m） 年度別事業費（千円）	盛岡市						166 13 0 13	
2-A-67	道路	一般	盛岡市	直接	—	市町村道	改築		市道東側線外 3 路線	道路改良負担金 一式 一式 年度別施工延長（m） 年度別事業費（百万円）	盛岡市						53.6 53.6 53.6 53.6	
2-A-68	道路	一般	盛岡市	直接	—	市町村道	改築		(他) 二子沢線	L=2040m L= 0 m 年度別施工延長（m） 年度別事業費（千円）	盛岡市						170 44 0 44	H27まで
2-A-71	道路	一般	盛岡市	直接	—	市町村道	改築		(他) 渋民東線	L=2433m L= 0 m 年度別施工延長（m） 年度別事業費（千円）	盛岡市						77 10 0 10	H27まで

その他関連する事業													
計画等の名称 ○○市における循環のみの実現													
事業種別		交付対象	要素となる事業名 (事業箇所)				市町村名	上段：計画		下段：実施		備考	
A' -1-1		○○市					○○市						
A' -1-2		○○市					○○市						
C' -1-1		○○市					○○市						
全体事業費		合計 (A' + B' + C')	0百万円 0百万円	A'	0百万円 0百万円	B'	0百万円 0百万円	C'	0百万円 0百万円	(C+C') / ((A+A') + (B+B') + (C+C'))			

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況						
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		・ 広域交通網を形成し都市活動を支える幹線道路の改良率 → 盛岡市1・2級幹線道路の改良率（1・2級幹線道路改良済延長／1・2級幹線道路実延長）×100（%） ・ 舗装新設、修繕等の舗装率 → 盛岡市道の舗装率（市道舗装済延長／市道実延長）×100（%） ・ 歩道、自由通路等の整備率 → 盛岡市道実延長に対する歩道整備率（歩道設置延長／市道実延長）×100（%）				
II 定量的指標の達成状況	指標①（1・2級 幹線道路の改良 率）	最終目標値	86.6%	目標値と実績値 に差が出た要因		
			台帳による整備率			
		最終実績値	87%			台帳による整備率
	指標②（盛岡市 道の舗装率）	最終目標値	82%	目標値と実績値 に差が出た要因		
			台帳による整備率			
		最終実績値	82.5%			台帳による整備率
	指標③（盛岡市 道延長に対する 歩道整備率）	最終目標値	13.8%	目標値と実績値 に差が出た要因		
			台帳による整備率			
		最終実績値	14.5%			台帳による整備率
Ⅲ 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 （必要に応じて記述）						
3. 特記事項（今後の方針等）						
・ 引続き各事業を進めることにより、安全・安心・快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造する。						